

第七十四回帝國議會 院 (鐵ノ輸入税免除ニ關スル件) 外一件

昭和十二年法律第五十七號中改正法律案 委員會會議錄(速記)第十九回

付託議案(審査終了ノモノヲ除ク)
帝國鑛業開發株式會社法案(政府提出)

會議

昭和十四年三月十五日(水曜日)午後二時九分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 八角 三郎君

理事寺島 權藏君 理事木村作次郎君

理事卯尾田毅太郎君 理事大内竹之助君

理事長谷 長次君

高橋壽太郎君 高橋 守平君

原 玉重君 川副 隆君

宮脇 長吉君 依光 好秋君

田尻 生五君 川俣 清音君

加藤 鎌造君 小野 謙一君

出席國務大臣左ノ如シ

商工大臣兼拓務大臣 八田 嘉明君

出席政府委員左ノ如シ

商工省鑛山局長 小金 義照君

商工書記官 山本 茂君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

帝國鑛業開發株式會社法案(政府提出)

○八角委員長 ソレデハ是カラ會議ヲ始メ

マス、商工大臣ニ質問ヲ留保セラレテ居リ

マシタ宮脇君ノ質問カラ始メマス——宮脇

○宮脇委員 私ハ此ノ間鑛山局長カラ大臣

ニ御傳ヘテ願フテ、大體質問ハ濟シタノデ

アリマスガ、此ノ際一二大臣ニ御同致シタ

イ、金以外ノ重要鑛產物ニ付テハ、此ノ法

案ノ實施ニ依ツテ、所期ノ目的ヲ達スルコ

トガ出來ルカドウカ、御同シタイノデアリ

マス

○八田國務大臣 本法案ハ主トシテ非鐵金

屬ヲ目標トシテ、積極的増産ヲ圖リ積リデ

アリマス、只今施行セラレテ居リマス他ノ

法案、即チ重要鑛物増産法ト相俟チマシ

テ、十分ニ效果ヲ擧ゲ得ルモノト確信致シ

テ居リマス

○宮脇委員 私ハ數量等ハ申シマセスガ、

大體其ノ實施ニ依ツテ、此ノ間或ル機會ニ

政府ガ御述ニナツタヤウナ、増産計畫ノ目

的ヲ達スルコトガ出來ルノデアリマスガ

○八田國務大臣 生産力擴充ノ見地カラ、

斯ノ如キ會社ガ必要デアルト考ヘテ居ル次

第デアリマス、サウシテ此ノ會社ダケデナ

ク——此ノ會社モ其ノ一ツデアリマスガ、

民間ノ事業會社ヲ督勵致シマシテ、相俟ツ

テ只今豫定シテ居リマス生産力擴充ヲ遂

行政スコトニ、有力ナル貢獻ヲ爲スドラウ

ト信ジテ居ルノデアリマス

○宮脇委員 有ユル手段ヲ講ジテ政府ノ計

畫ヲ實行シタイト云フコトデアリマス、私

共ハ此處テ御尋申上ゲタイノハ、斯ウ云フ

適切ナル會社ガ出來マシテモ、此ノ運用如

何ニ依ツテ效果ニ非常ナ差違ガアル、運用

ノ基本ヲナスモノハ私共ハ人デアルト思

フ、之ニ付テ私ハ此ノ間鑛山局長ニ御傳言

ヲ御願シタノデアリマスガ、此ノ會社ガ出

來マシテモ、從來ノヤウナ國策會社ノ方法

デハドウカト思フ、餘程會社ノ使命ヲ十分

ニ諒解シ、其ノ使命ヲ達スルノニ萬遺憾ナ

キヤウナ人が來ナケレバイカヌト思フ、元々

政府ガ或ル保證ノ責ニモ任ジテヤルノデ

アル、場合ニ依ツテハ會社ノ損失モ覺悟シ

ナケレバナラス、要ハ重要鑛產物ノ増産ニ

アルノデスガ、其ノ増産ヲ圖ル爲ニハ普通

一般ノ方法デハイカヌ、唯堅實ナ會社ノ經

營ダケデヤツテ行キマスナラバ、例ヘバ貸

シタ金ノ回收ガ遺憾ナイト云フダケナラ

バ、何モ斯ウ云フ會社ヲ作ラナクテモ、他

ノ金融會社カラ方法ガ取り得ル、動モスレ

バ斯ウ云フ會社ガ出來マシテモ、貸金ニ付

テ回收ノ遺憾ナイト云フコトヲ前提トス

ル、其ノ方針ガ私ハイカヌト思フ、何處マ

デモ會社ノ使命達成ニ眼點ヲ置イテ行ク、

斯ウ云フ點ニ付テ大臣ニ於テ十分ナ御用意

ガアリマセウカ、私ハ此ノ機會ニ於テ大臣

ノ包懷スル御意見ヲ伺ヘレバ洵ニ仕合セト

思ヒマス

○八田國務大臣 御話ノ如ク全ク斯ル種類

ノ會社ハ運用如何ニ歸スルノデアリマス、

一般ノ民間ノ資本ニ依ツテ、又民間ノ手ニ

依ツテ出來タモノハ、其ノ點割合ニ巧ク行

ツテ居ルト思フノデスガ、國策會社ハ動モ

シマスルト、民間ノ會社ニ比シテ其ノ成績

ヲ擧ゲ難イヤウナ結果ヲ生ズル虞ガ私ハア

ルト思フ、ソコデ全ク其ノ使命ヲ達成スル

ノハ人ノ力ニアルト思ヒマス、本當ニ其ノ

使命ヲ理解シテ、獻身的ナ努力ヲスルト云

フコトガ、先ヅ必要ダト思フノデアリマス、

過去ニ於キマシテハ、兎角國策會社ト雖モ、

其ノ會社構成ノ關係カラ、利益ヲ度外視ス

ル譯ニ行カナイト云フヤウナ立場ニアルモ

ノガ多カツタト思フノデアリマス、隨テ營

利主義ト云ヒマスガ、サウ云フ批評ヲ免レ

ナイノデアリマスガ、今回ノ此ノ種ノ會社

ハ特ニ其ノ點ニ力ヲ入レマシテ、損失ヲ度

外視シテモ、ソレヨリモ大切ナ目下ノ急務デアリマスル重要礦物ヲ増産スルコトニ專念スルコトガ出來ルヤウ、此ノ法律ノ内容ガ出來テ居ルヤウナ次第デアリマスノデ、其ノ點ハ心配ナイト思フノデアリマス、一ニ人ノ運用ト熱心トニアルト、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス

○宮脇委員 大體大臣ノ御考モ拜承シマシタ、洵ニ結構デアリマス、要ハ其ノ實現ニアルト思フ、吾々ノ考デハ、ドウ云フ經歷者ガイカストカ、宜イトカ、サウ云フ議論ハ避ケマスガ、假ニ金融業ノ經歷者ヲ社長ニスル、其ノ人が此ノ會社ノ使命ヲ能ク考ヘテ居レバ宜イガ、動モスレバ金融業者ニ伴フ所ノ通弊ガアル、サウ云フヤウナ點カラ云ツテ、金融本位デアルト云フノデハ私ハイケナイト思フ、何處マデモ重要礦產物ノ増産ノ必要ヲ痛感シテ、國家モ多大ノ犠牲ヲ拂ツテ此ノ増産ヲ圖ルト云フ今日、會社ハ場合ニ依ツテハ損ヲシテモ、巨額ノ礦產物ヲ得レバ宜イト云フダケノ肚ヲ持タナケレバナラス、其ノ肚ガナケレバ幾ラ立派ナ法案ヲ作ツテモ何ニモナラヌト思フ、要ハサウ云フ頭ノ人、サウ云フ考ノ人ヲ、人選スル場合ニ考慮シテ戴キタイト思フ、此ノ間此ノ席デ一寸申上ゲタノデアリマスガ、

私共ハ此ノ増産計畫デ果シテ計畫通り行クヤ否ヤト云フコトニ疑問ガアル、ソレニハ餘程ノ努力ガ要ル、或ハ此ノ法案以外ニ他ノ方法手段ヲ講ゼラレルカモ知レマセヌガ私共考ヘレバ、餘程思切ツタコトヲヤラナケレバ中々難カシイト思ヒマス、私共ハ今回ノ事變ノ目的ヲ達成スル爲ニハ、結局物資ノ不足ヲ告ゲヌト云フコトガ根本デアリマス、一方ニ於テ國際情勢ガ如何ニ惡化シマシテモ、世間デ憂フルヤウニ日本ハ全面的ニ互ル經濟封鎖ヲ受ケルヤウナ心配ハナイ、例ヘバ或ル國ガ日本ノ生絲ヲ買ハヌトカ、或ハ日本ニ向ツテ棉ヲ賣ラヌト云フヤウナコトハアリ得ヌト思フ、唯一番心配スルノハ、例ヘバ護謄トカ、銅トカ、ガソリントカ、軍需品ニ限定シテ日本ニ物ヲ賣ラヌト云フコトハ私ハアリ得ルト思フ、是ハ又相當深刻ナ手段方法モ講ジテ居ルト云フコトモ聞イテ居ル、サウ云フ場合ニ於キマシテ、幾ラ戰爭ガ巧ク目的ヲ達シテ居リマシテモ、斯ウ云フモノニ付テ日本ガ之ヲ防ガナケレバ、中々戰爭遂行ハ難カシイ、私ハ斯ウ云フ國際情勢ノ惡化ノ場合ヲモ考慮シテ、何處マデモ出來得ル限り自給自足デ行クト云フ爲ニハ、直グヤツテ直グ間ニ合ハヌコトデアリマスカラ、今日ヨリ先ヲ見

透シテ、萬一ノコト、不利ノ場合ヲ見越シテ、十分ナ計畫用意ガ必要デアル、サウ云フコトヲ考ヘテ見マスナラバ、私共ハ此ノ會社ノ成立後ニ於ケル活用ト云フコトニ付テハ、餘程今カラ深甚ナ御考慮ガ必要デアルト思フ、能ク從來ノ議會ニ於テモ私共承ツタコトデスガ、人選等ニ付テ、實際會社ヲ作ツタ曉ニ於テ、動モスレバ銀行業者ノ古手ヲ持ツテ來ルトカ、或ハ斯ウ云フ事業ニ理解ノナイ者ヲ持ツテ來ルトカ云フ結果、立派ナ法案ガ出來、議會デ大臣竝ニ政府委員ガ立派ナ答辯ヲシテ居ツテモ、實質ガ伴ハヌ場合ガ多イ、既ニ政府ガ犧牲ヲ拂ツテ其ノ損失ノ責ニモ任ズルト云フダケノ覺悟ヲ以テ作ツタ會社デアリマス、私ハ何處マデモ陣容ヲ立派ニシテ、此ノ會社ノ使命ヲ達成セラレナケレバナラヌト思フ、私ハ此ノコトヲ吳々モ御願シテ置キタイ、最早大臣ハ先刻御所見ヲ述ベラレマシタカラ、私ハ之ニ信賴シテ、茲ニ自分ノ希望ヲ述ベテ私ノ質問ヲ打切りマス

○八角委員長 依光君

○依光委員 私ハ簡單ニ一二點御尋シテ見タイト思ヒマス、只今宮脇サンカラ御話ノゴザイマシタコトニ關聯シテ、一寸大臣ノ御意見ヲ承ツテ置キタイト思ヒマス、國策

會社ノ一タル日鐵ガ、最近ヤツテ居リマスル所ヲ見マスルト、私共ノ見ル所デハ非常ニ消極主義デアル、手緩イト云ツタ感ガ多マルノデアリマス、其ノ一二ノ例ヲ申シマスルト、日鐵ガ只今其ノ事業ヲ遂行スル上ニ於テ、鐵ノ買入ガ最モ必要デアル、即チ日鐵會社トシテハ、ドノ會社ヨリモ熱心ニ、國內ノ鐵礦ニ對シテ深甚ナル調査研究ヲ遂ゲ、此ノ山ハ良イ山ダト考ヘタナラバ自ラ進ンデ他ノ民間會社ヨリ以上ノ熱ト、誠意ト、努力ヲ以テ之ヲ手ニ入レル、斯ウ云ツタ方策ニ出ルノガ日鐵ノ執ルベキ最モ大事ナ態度デハナイカト思フノニ、日鐵ノ態度ヲ見テミマス、非常ニ退嬰主義デアル、例ヘバ一ツノ山ヲ買フニシテモ、先ヅ民間側ノ競爭者ノ顔觸ヲ見テミル、例ヘバ民間側デ三人ナリ五人ナリノ競爭者ガ出テ來テ、是等ガ五十萬圓ニ其ノ山ヲ評價シタトスル、ソレヲ持主ガ賣ラナカツタ、サウシテ茲ニ非常ニ色々ナ「トラブル」ガ起ツタトスル、日鐵ガ最後ノ手ヲ以テスレバ、是ガ二十萬圓ナリ三十萬圓リノ値段デ買ヘル、斯ウ云ツタヤウニ自ラハ其ノ中ヘ入ラズニ、側ニサウ云フヤウナ一ツノ紛糾、交渉ヲ求メテ、傍觀的ナ態度ヲ執ツテ居ル、斯ウ云フヤウナ例ヲ私ハ二三知ツテ居ルノデゴザイマス、

斯ウ云フコトデハ私ハ國策會社トシテノ使命ヲ達成スルコトガ出來ナイト思フ、是ガ大冶ノ鐵山トカ、茂山ノ鐵山トカ云フヤウナ、誰ガ見テモ數千萬兩、數億兩アルト云フ査定ノ出來ル山ノ賣買ニハ、ソシナコトハ必要ナイノデゴザイマスガ、民間側デ持ツテ居リマス鐵礦ナドハ、一ツ／＼調査致シマシテモ、直チニ推定量ガ何千萬兩、何百萬兩ト云フヤウナコトハ中々出ニクイノデアリマシテ、此ノ間ニ賣買ヲスルニシテモ、非常ニ年月ガ掛カルノダラウト思フ、而モ今此ノ非常時局ニ於テ、先ヲ見越シテ非常ニ詳シク調査ヲシテ、石橋ヲ叩イテ渡ルヤウナ、サウ云フヤウナ方法デ日鐵ガ仕事ヲシナケレバナラヌ場合デハナイト思フ、多少ノ冒險ヲ冒シテモ、民間ニサウ云ツタ有望ナ山ガアルナラバ自ラ進シデ、個人ノ會社ナドノ手ヲ出サス内ニ、自ラ進シデ飛ビ込シデ、ソレヲ手ニ入レテ國策ノ線ニ沿フ事業ノ中ニ入レテ行ク、斯ウ云フコトガ私ハ日鐵ニ課セラレタ使命デハナイカト思フノニ、私ノ方ノ高知縣ナドニ於キマシテモ、ドウモ日鐵ニ頼シタ仕事ガ行カナイ、現ニ私が一ツ日鐵ニ頼シタ仕事ガアル、私ノ縣ハ高知縣デアリマスガ、高知縣デハ相當ノ鐵礦ガアル、此ノ調査ヲ御頼ミシタ

所ガ、早速調査ハシテ吳レマシタガ、慎重ナ態度ヲ執リ過ギテ、自ラ進シデ之ヲドウスウシヨウト云フコトヲシテナイ、其ノ間ニ神戸製鋼所ガヤツテ行ツテ、之ヲ安イ値デ叩イテ買取ツタ、斯ウ云フヤウナ例モアルノデアリマスガ、斯ウ云フコトデハ私ハ折角ノ一番大事ナ國策會社ノ使命ヲ全ウスルコトハ至難デアルト思ヒマス、是等ノ點ニ付テ大臣ハ、日鐵ノオヤリニナツテ居ルコトヲ満足シテ御覽ニナツテ居ラレルカドウカ、一寸此ノ點ヲ御尋シテ見タイト思ヒマス

○八田國務大臣 只今日鐵ノ會社ノ運営ニ付テ御話ガアリマシタ點ハ、能ク承ツテ置キマスガ、一般ニ國策會社ナルモノハ、其ノ目標ガ何處ニアルカト申シマス、官營ノ長所ト民營ノ長所ト二ツナガラ兼ネ備ヘルト云フ所ニ、其ノ目標ガアルト思フノデアリマス、然ルニ動モシマスルト國策會社ガ、官廳ノ事務ノヤウナ、石橋ヲ金槌デ叩イテ渡ルト云フヤウナ傾向ニナル虞ガアルノデアリマス、併シ一方ニ於テ是ハ咎ムベキコトデハナイノデアリマスガ、ソレガ爲ニ其ノ國策會社ノ最モ長所トシナケレバナラス所ノ、民間業的ノ敏捷サト云フモノヲ失ツテハナラスト思フノデアリマス、此ノ

邊ニ付キマシテハ、十分ニ私ハ研究ノ餘地ガアルト思フノデアリマス、或ル學者ハ、國策會社ガ今日ノ如ク非常ニ殖エテ參リマシ場合ニ於テハ、之ヲ學術的ノ一ツノ大キナ研究題目トシテ見ナケレバナラストマデ言ウテ居ル位ニ、其ノ點ハ非常ニ難カシイ點デアルト思ヒマスガ、今後ニ於テ吾々モ其ノ點ニ付テハ十分ニ研究ヲ致シテ、其ノ長所ヲ發揮スルヤウニシテ、短所ハ出來ルダケ如何ニシテ之ヲ除クカト云フコトニ付テ、努メナケレバナラスト思ヒマス、日鐵ニ付キマシテハ、私ノ承知シテ居リマスル所デハ、國內ノ資源ノ開發ニ付テ、モット積極的ニ一ツヤツテ參ラナケレバナラスト云フ氣持ヲ以チマシテ、監督官廳ト致シマシテモ、其ノ方面ニ御話ヲシテアルノデアリマシテ、既ニ日鐵ニ於キマシテモ資源課ト云フヤウナモノヲ作ツテ、是ノ積極的ノ運用ヲ致シタイ、斯ウ考ヘテ進シデ居ルヤウニ承知致シテ居ルノデアリマス、併シナガラ只今御話ノヤウナ點ニ付キマシテハ、更ニ一層官廳モ亦國策會社ニ協力致シマシテ、國內資源ノ開發ニ付テ、遺憾ナク國策會社ノ長所、妙所ヲ發揮スルヤウニ努メタイト思ヒマス

○依光委員 只今大臣ノ御答ニ依リマシテ、

甚ダ心丈夫ニ思ツテ居リマス、事實ハ全ク先程私ガ述べマシタヤウニ、餘リニ官僚的デアツテ、民間ノ機微ニ投ズルコトガ非常ニ疎イト云フコトハ事實デゴザイマスカラ、此ノ點ハ一ツ今後大ニ御注意ヲ下サイマシテ、積極的ニ出ラレテ、國內資源ノ開發ニ一層ノ努力ヲ拂ハレルヤウニ御注意アラシコトヲ御願致シマス、第二點トシテ御尋シタイノハ、本法案ニ依リマス、ハツキリシテ居リマセスガ、是ハ内地ダケノ重要礦物ノ開發會社デゴザイマセウカ、ソレトモ朝鮮、樺太ノヤウナ所ガ包含サレテ居ルノデゴザイマセウカ、其ノ點ヲ一寸御伺致シマス

○八田國務大臣 法律ニハ其ノ點明瞭ニナツテ居リマセスガ、考ト致シマシテハ、主トシテ内地ヲ目標ト致シテ居ルノデアリマス、外地ニ對シマシテハ、又ソレ／＼之ニ應ジマシテ、色々ト總督府等デ考ヘテ居ラレルヤウデアリマス

○依光委員 私ハ朝鮮ハモウ殆ド内地扱ニシテ宜イト思フノデゴザイマスガ、此ノ金礦及ビ砂金ヲ除ク重要礦物ト申シマス、内地以上ニ朝鮮ニハ澤山ノ重要礦物ガ埋藏サレテ居リマスコトハ、私ガ申スマデモナク當局ノ御承知ノ通りデアリマス、デスカ

ラ此ノ會社ガ組織サレトスレバ、朝鮮ヲ如何ニスルカト云フコトハ、私ハ焦眉ノ重大問題デアルト思フデアリマス、私共ガ微カニ聞ク所ニ依リマス、本案ニ朝鮮關係ヲ入レナカツタノハ、此ノ中ニモ書イテアリマス、此ノ資金三千萬圓ノ中千五百萬圓ヲ興業銀行ガ負擔スルト云フコトデアリマス、朝鮮ヲ入レナカツタト云フ理由ハ、ドウモ殖産銀行、東拓ナドト云フノガ、散々今マデ色々ナリ出シ、色々ナリ抵當物ヲ取ツテ、不當貸出ヲシテ居ルノデ、非常ニ財政上困難デアル、非常ニ貧窮ノ狀態ニ陥ツテ居ル、デアルカラ是等ニサウ云ツタ負擔ヲ掛ケルコトハ一寸考ヘモノダト云フ意味カラ、朝鮮ヲ除イテ興業銀行一手ニ之ヲ引受ケサセタト云フコトヲ承ツテ居リマス、サウ云フヤウナ事實ガアルノデゴザイマス

○八田國務大臣 只今御話ノヤウナ事實ハアリマセヌ、全ク内地ノ重要礦物開發ニ對シテ力ヲ致スノデアリマス、朝鮮等ニ於キマシテモ、勿論御話ノ如ク非常ニ重要礦物ハ有望デアリマスノデ、相呼應致シマシテ、手ヲ携ヘテ此ノ開發ヲ圖リタイト思ヒマス

○原委員 一寸關聯シテ伺ヒマス、此ノ株式會社ハ斯ウ云フ目的ヲ以テ、斯ウ云フ營業ヲ營ムモノデアルト云フ風ナ規則ニナツテ居ルノデスガ、朝鮮デヤツテハイケナイトカ、又ハ外地デヤツテハイケナイト書イテハナイカラ、朝鮮デアラウト、樺太デアラウト、南洋デアラウト、ヤル場所ハ何處デモ宜イト思フ、其ノ意味ニ於テ朝鮮ニ於テ開發シナケレバナラス山ノアル場合ニ於テ、一法人トシテ朝鮮總督府ニ同ジヤウナ手續ヲシテ、朝鮮ニ於テ礦業ヲ營ムト云フコトハ、ヤツテハイケナイ譯ニナルノデセウカ

○八田國務大臣 朝鮮ニ於ケル事業ハ、朝鮮ニ於テ此ノ法律ガ施行サレバ宜イ譯デアリマスガ、只今ノ所此ノ會社ノ範圍ヲ内地ニ止メタイト考ヘテ居ルノデアリマス、併シナガラ法律カラ言ヒマスレバ、擴ゲルコトモ出來ヌコトハナイノデアリマスガ、資力ヤ色々ナリ關係カラ、外地ハ外地別ニ是ト呼應シテヤルコトノ方ガ適當デアラウト考ヘテ、左様ニ致シタヤウナ次第デアリマス

○原委員 此ノ法律ノ根據トシテ、私ノ今言ツタヤウナ意味ノコトガ、ヤレバ出來ルト云フ解釋ニナルノデセウカ、絕對ニ出來ナト云フ解釋デゴザイマセウカ

○依光委員 私モソコヲ問ヒタイノデス

○八田國務大臣 御話ノ如ク左様ニ致セバ出來ル譯ナノデアリマスガ、今サウ云フ風ニ考ヘテ居ラナイノデアリマス

○原委員 法律ハ之ヲ許スケレドモ、政府當局トシテハ擴ゲル考ハナイ、内地ダケデアラウト云フ意味デス

○八田國務大臣 サウデス

○川俣委員 施行區域ハ内地ダケト云フコトニナルノデス

○小金政府委員 今ノ所取敢ズ内地ダケニ施行スル考デアリマス

○依光委員 私ハ其處ガ附ニ落チナイノデアリマスガ、此ノ法律案ヲ御作リニナル時ニ、ヤツテモ宜イト云フナラバ、朝鮮デヤツテモ宜イ譯デスガ、サウ云フ時ニドウナルノデゴザイマスガ、法律デモ止メルコトガ出來ナイ、政府トシテヤル意思ガナイ、ドウモ此處ガ不備デアルト思フノデスガ、之ヲ御作リニナル場合ニ、斯ウ云フコトヲ御考ニナラナカツタデセウカ

○小金政府委員 此ノ法律ハ會社法デアリマスガ、此ノ會社ノ事業ガ朝鮮、臺灣、樺太ト云フ、外地ニ伸ビテモ宜イト云フ風ニ解釋致シマス、ソレハ此ノ會社ノ事業計畫ニ依ツテ決マル、其ノ事業計畫ヲ認メル政府ノ方針ニ依ツテ、サウ云フ風ニ決マルデアラウト思ヒマス、此ノ法律ハサウ云フ建前デ出來テ居リマス、今依光サンノ御話ノ通り、外地ニモ續々重要礦物ガ發見セラレテ、其ノ開發ヲ待ツト云フ狀態ニアリマスガ、此ノ帝國礦業開發株式會社ガ一手ニ行フト云フコトモ一ツ考ヘラレルノデアリマス、サウ云フ考ヲ以テ檢討モ致シマシタ、併シナガラ外地ハ外地ニ則ツタ別ノ方策ヲ執リマシテ、此ノ帝國礦業開發株式會社ノヤウナ形ヲ採ラズニ、差當ツテ此ノ會社ト増産ニ付テ歩調ヲ合セルヤウナ方法ヲ講ジタイ、斯ウ云フ大體ノ内部ノ關係デ、一應計畫トシテハ、此ノ會社ハ外地ヲ考ヘテ居ナイト云フ意味デ、大臣ガ御説明ニナツタ譯デアリマス

○依光委員 ソレデハ若シ朝鮮、樺太、南洋等ニ、斯ウ云ツタ重要礦物ノ開發ノ要求ガ澤山出マシタ時ニ、此ノ帝國礦業開發株式會社ニソレヲ持ツテ參リマシテ、何トカシテ吳レト云フ相談ガアツタ時ニハ、ドウ云フ風ニナルデセウカ

○小金政府委員 此ノ會社ハ事業計畫ノ認可ヲ政府カラ受ケテヤルノデアリマスガ、其ノ事業計畫ノ中ニ入ツテ居ラナケレバ、サウ云フ御相談ナリ、或ハ持込マレタ事業ニ關係スルコトガ出來ナイト思ヒマス、其ノ時ニ若シ會社ガ必要ナリト認メタ時ニ

建前デ出來テ居リマス、今依光サンノ御話ノ通り、外地ニモ續々重要礦物ガ發見セラレテ、其ノ開發ヲ待ツト云フ狀態ニアリマスガ、此ノ帝國礦業開發株式會社ガ一手ニ行フト云フコトモ一ツ考ヘラレルノデアリマス、サウ云フ考ヲ以テ檢討モ致シマシタ、併シナガラ外地ハ外地ニ則ツタ別ノ方策ヲ執リマシテ、此ノ帝國礦業開發株式會社ノヤウナ形ヲ採ラズニ、差當ツテ此ノ會社ト増産ニ付テ歩調ヲ合セルヤウナ方法ヲ講ジタイ、斯ウ云フ大體ノ内部ノ關係デ、一應計畫トシテハ、此ノ會社ハ外地ヲ考ヘテ居ナイト云フ意味デ、大臣ガ御説明ニナツタ譯デアリマス

ハ、事業計畫ノ變更ノ申請ヲ爲サレタナラバ、外地等ノ事業ニ付テ關與モシ、又資源開發ノ具體的ナ方策ヲ、此ノ會社ノ手ニ依ツテ實行スルコトガ出來ルト思ヒマス

○依光委員 政府ハ近キ將來サウ云ツタ外地ニ、是同ジヤウナ姉妹會社ヲ設立スル必要ヲ必ズ感ジテ來ルト思ヒマスガ、サウ云フ姉妹會社ヲ御作りニナル御意思ヲ、今ノ所持ツテ居ラレルカドウカ

○八田國務大臣 實ハ此ノ會社ノ立案ニ當リマシテハ、最初外地モ入レテ廣クシテ、資本モ大キクシテヤツタ方ガ宜イト云フ考モアツタノデアリマスケレドモ、朝鮮ノ如キモ相當大キナ事業デアリマス、更ニ臺灣トカ何トカ云フコトニナリマス、尙ホ大キナモノニナツテ、一ツノ會社デソレダケノコトヲヤツテ、却テソレガ爲ニ内地ノ所謂目ノ前ノ開發セントスルモノガ出來ナイコトニナル、其ノ大キサト云フコトモ考ヘマシテ、是ハ内容ニ於テ主トシテ内地ヲヤルト云フコトニ計畫ヲ立テル積リデ居ル譯デアリマス、デアリマスカラ將來——或ハ將來ト云ヒマシテモ、極ク近キ將來ニ於キマシテモ、朝鮮等ニ於キマシテ同様ナ會社ノヤウナモノガ必要デアル時ニハ、サウ云フコトニナルカモ知レマセスガ、只今ノ所

デハ大體民間ノ事業ヲ促進サセルト申シマス、サウ云フコトデ行キタイヤウニ考ヘテ居リマス、マダソコハ實ハ研究中ナノデアリマス

○依光委員 大體政府ノ御趣旨ガ能ク分リマシタカラ、私ノ質問ハ是デ打切りマス

○八角委員長 川俣君

○川俣委員 私ハ關聯シタ質問ダケ先ニ御尋シタイト思ヒマス、先程局長ノ御説明ニ依リマスレバ、施行區域ヲ内地ダケニ限ル、併シ出來タ會社ノ活動範圍ト云フモノハ、制限サレナイヤウニ思フノデアリマスガ、其ノ點ニ對シテ明快ナル御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

○小金政府委員 ソレハ此ノ法律ノ法域ガ内地デアルト云フ趣旨デゴザイマシテ、此ノ會社ガ營ム事業ノ範圍ト申シマス、伸ビテ行ク先ハ、政テ外國ヲモ制限シナイノデハナイカ、斯ウ云フ趣旨デゴザイマス

○高橋(壽)委員 關聯シテ——帝國鑛業開發會社ガ外地ニモ及ブカドウカト云フコトノ質問應答ガアリマシタ、私モ之ヲ先達テ伺ツタノデアリマスガ、ハツキリト致サナイノデアリマス、大體日本產金振興會社ト云フノハ内地、外地ヲモ含ム、所ガ帝國鑛業開發ハ外地ヲ含マナイ御意向トスルト、

名稱ノ附ケ方カラシテヲカシイト思フ、日本ト言ヘバ、内地ダケノコトヲ意味セラレル場合ガ多イノデアリマスガ、帝國ト言ヘバ、内地、外地ヲ含ム、モツト廣イ範圍ニ互ルノデアリマス、名前ノ附ケ方ガ反對ダト思フ、ソレカラモウ一點ハ、外地ノ方ハ民間ノ事業ヲ助成シテ行カレルト云フノデアリスガ、内地ノ方ハ損ヲシテモ國庫ノ補助ガアル、外地ノ方ハ損ヲスレバ民間會社ノ丸損ニナル、斯ウ云フコトデハ、恐ラク今日ノ重要鑛物増産ノ目的ニ、逆モ急速ニハ副ヒ難イト思フノデアリマス、此ノ點如何デアリマスカ

其ノ事業ノ計畫ハ、大體先程申シタヤウニ考ヘテ居リマス、併シ丁度斯ウ云フ事業ガアツテ、之ニ投資シタイト云フヤウナ場合ニハ、政府ガ認可ヲ與ヘレバ出來ル譯デアリマス、此ノ點ハ滿鐵デモサウデアリマシテ、滿洲ニ仕事ハ限ツテアリマスケレドモ、認可ヲ得テ其ノ他ノ方面ニ手ヲ伸バシテ居ルノデアリマス、ソレト同ジデアリマシテ、決シテ此ノ法律其ノモノハ性質上サウ狹ク限定シテ居ル譯デハナイ、事業計畫ハソレデ一ツ行キタイト云フノデ、資金計畫ヤラ何ヤラ考ヘテ居ル、斯ウ御取りヲ願ヒタイト思ヒマス

○八田國務大臣 此ノ會社ノ目標トスル所ハ、先程御話シタ通りデアリマス、事業計畫ト云フモノガ、認可ヲ得マシテソレヲ認メテ行ク譯デアリマスノデ、政府ノ認可ヲ得レバ、今考ヘテ居リマス以外ニ擴張ラレル譯デアリマスケレドモ、資金ノ關係ヤラ何カラシテ、只今政府ノ考ヘテ居リマス創業ノ際ニ於ケル考ヘ方ハ、先程申上ゲタ通りデアリマス、隨ヒマシテ將來他ノ方ニ絶對出ナイト云フコトハ保證シナイノデアリマス、第二十三條ニ「帝國鑛業開發株式會社ハ每營業年度ノ事業計畫ヲ定メ政府ノ認可ヲ得クベシ」斯ウ云フコトデアリマス、

○高橋(壽)委員 商工大臣ノ御答辯ヲ伺ツテ見マス、此ノ鑛業開發會社ハ、資本金ヲ増加スルナリ、他ノ相當積極的ナ手段ニ依ツテ、朝鮮其ノ他ノ外地ノ重要鑛產物ヲモ増産スル如キ方法ニ出ル必要アリト云フ結論ニ到達スルト私ハ思フノデアリマスガ、此ノ事ハ今押問答致スノデハアリマセス、ドウカ其ノ積リデ本當ニ此ノ會社ヲ設ケラレタ御趣旨ニ副フヤウニ、外地ノ鑛物開發ニモ御努力ヲ願ヒタイト思ヒマス、關聯デ少シ前ニ戻ルヤウデアリマスガ、先程日本製鐵株式會社ガ國策ノ線ニ沿ハナイ憾ミガ多々アルト云フコトヲ依光委員カラ御述ニ

ナリマシタガ、私ハ極メテ同感デアリマス
私ハ數年來此ノ事ヲ政府ト押問答ヲ致シタ
ノデアリマスガ、コツチノ方ガスツカリ弱
ツテシマヒマシテ、幾ラ申上ゲテモ見込ガ
ナイノデ、實ハ匙ヲ投ゲテ居ツタノデアリ
マス、此ノ事ハ一ツ政府デ十分御監督ラシ
テ下サイマセスト、民間會社ガ開發シ得ル

鐵山ヲ日本製鐵會社ガ——多少ノ利益計算
ハドウカ知リマセスガ——ソレヲ開發シナ
イデ、自分等ハ外地カラ取寄セル種目ノ同
ジヤウナ鐵礦ヲ使ツテ行ツタ方ガ宜イト云
フコトハ、單ナル營利追求ノ計算デアリマ
ス、是ハ爲替ノ關係スラモ私ハ考ヘテ居ナ
イノデハナイカト思ツテ居リマス、況ヤ國
防上内地鐵物ノ開發ノ必要ナルコトハ、敢
テ論ヲ俟タザル所デアリマス、此ノ點ニ於
テ商工大臣ハ國策會社ノ實ニ副フベク、日
鐵ヲ大イニ鞭撻指導シテ戴キタイト私ハ思
フノデアリマス、ソレカラ唯一ツ商工大臣
ニ伺ヒタイコトハ、私共ヲシテ言ハシムレ
バ、日鐵會社ヲ作ツタコトハアレハ誤リダ、
現ニ「アウトサイダー」ノ會社ガ澤山居ツテ、
アレダケデ以テ日本ノ製鐵業ヲ統制スルト
云フヤウナコトガ不可能ニナツタコトハ、
政府ガ證明シテ居ルノデアリマスガ、ソレ
バカリデハナイ、私ハヤハリ八幡ノ製鐵所

ハ政府ノ製鐵所トシテ置イタ方ガ、他ノ民
間會社ヲ合作スルヨリハ、遙ニ今日能率ヲ
上ゲテ居ツタノダラウト思フ、畢竟アレハ
政府モ議會モ見込損ヒデアツタト私ハ思フ、
此ノ點ニ對シテ商工大臣ハ如何ナル考デゴ
ザイマセウカ、ソレヲ御伺シタイ

○八田國務大臣 大體ハ今御話ノ點ハ、先程
私ガ概括的ニ御答申上ゲタコトノヤウニ考
ヘテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ今後ニ
於キマシテ、監督官廳ト其ノ當事會社ト十
分ニ協力ヲ致シマシテ、ソレ等ノ國策會社
トシテ足ラザル所ノモノヲ、十分ニ補正ス
ルヤウナ風ニ努メタイト思フノデアリマス、
只今私ガ此處ニ具體的ニ御答スル程ノ資料
ヲ持ツテ居ラナイ次第デアリマスカラ、唯
原則的ナコトヲ御答申上ゲテ、只今高橋サ
シノ御話ノ點ハ、先程他ノ各位カラ御話ノ
アリマシタ點ト共ニ能ク伺ツテ置キタイト
思ヒマス
○高橋(壽)委員 モウ一ツ……
○八角委員長 マダ關聯デアリマスカ
○高橋(壽)委員 日鐵ニ付テ……
○八角委員長 日鐵ハ打切ツタノデアリマ
ス
○高橋(壽)委員 ソレナラ宜シウゴザイマ
ス

○小金政府委員 今此ノ法律ノ施行區域ノ
點ニ付テ御質問ガアリマシテ、御答致シマ
シタガ、多少誤解ヲ招ク虞ガナイトモ限リ
マセス、其ノ意味ニ於テ川俣サンカラ重ネ
テ御尋デアツタト思ヒマス、此處デ私ノ説
明ガ少シ足ラナカツタカラ補正サシテ戴キ
マス、此ノ法律ハ内地ヲ大體法域トスル法
律デアリマスガ、共通法ニ依リマシテ、一
ツノ地域ニ於テ認メラレタル法人ハ他ノ地
域、即チ他ノ法域内ニ於テモ法人トシテ活
動シ得ルト云フ仕組ニナツテ居リマス、言
葉ガ足りマセスデシタカラ、一寸……

○八角委員長 ソレデヤ元ヘ戻ツテ質問願
ヒマス、川俣君
○川俣委員 私ハ唯一點ダケ大臣ニ御尋致
シマシテ、他ノ點ハ政府委員カラ御答辯願
ヒタイト思ヒマス、實ハ私一寸他事ガアリ
マシテ缺席致シマシタノデ、質問ガ重複ス
ルカモ知レマセヌケレドモ、大臣ニ此ノ點
ダケ御尋致シタイト思フノデアリマス、大
臣ハ民營ト官營ノ長所ヲ兼ネテ居ルノガ特
殊會社ノ形體デアル、斯ウ云フ明快ナ御信
念ヲ持ツテ居ラレルヤウデアリマス、私共
モサウアルコトガ特殊會社ノ使命デアルト
存ジマス、所ガ往々ニシテ民營ト官營ノ長
所ヲ相兼ネテ持ツテ居ルノデナクシテ、民

營ノ缺點ト官營ノ缺點ヲ露骨ニ持ツテ居ル
ノガ、特殊會社デアルト云フヤウナ場合ガ
時々起ルコトヲ、吾々ハ非常ニ遺憾ニ存ジ
テ居ルノデアリマス、一ツノ點デ申上ゲマ
スルナラバ、斯ウ云フ特殊會社ガ社長ヲ任
命スル場合ニ、有能ナ人ヲ任命サレルコト
ヲ吾々ハ期待シテ居ル所デアリマスガ、一
面其ノ有能ナ社長デアリ或ハ總裁デアリマ
ス爲ニ、他ニ政府ノ都合ニ依リマシテ、或
ハ政府ノ他ニ對スル國策ノ期待カラシマシ
テ、一年足ラズ或ハ半年足ラズシテ、其ノ
有能ナル總裁或ハ社長ヲ他ニ轉職セシメル
ヤウナコトガ間々アルノデアリマス、國策

會社ガ國策遂行ノ一點ヲ目指シテ事業ヲ遂
行致シテ居リマスル時ニ、他ノ國策ノ爲ニ必
要ダト云フコトデ轉職サセマスルナラバ、
其ノ國策會社ハ其ノ爲ニ犠牲ニナラザルヲ
得ナイ場合ガ往々アルノデアリマス、東北
興業株式會社或ハ東北振興電力株式會社ニ
於キマシテモ、最初ニ吉野總裁社長ヲ戴キ、
後ニ現大臣ヲ總裁社長ニ戴イタノデアリマ
スガ、多ク期待致シテ居リマシタガ、甚ダ
有能デアラセラレタ爲ニ、他ノ國策ノ爲ニ
職ヲ退カレタト云フガ如キハ、他ノ國策ノ
遂行ノ上ニハ適當デアツタカモ知レマセヌ
ケレドモ、就任サレマシタ總裁並ニ社長ノ

國策ノ線ダケハ、蹂躪サレタ結果ニ相成ルト思フノデアリマス、是ト逆ニ無能デアリマスル人ガ總裁社長ニナツテ居リマスルト、中々其ノ職ヲ辭セナイデ、却テ其ノ會社ノ迷惑ニナル、有能デアリマスル場合ハ、政府ハ他ノ國策ノ爲ニ之ヲ轉用サレルト云フコトニナリマスレバ、國策會社ハ徒ニ犠牲ヲ強ヒラレルヤウナ結果ニナリマシテ、目的ガ達セラレナイ憾ミヲ持ツノデアリマスガ、將來斯ウ云フ特殊會社ガ出來マシタ場合ニ於ケル政府ノ態度ヲ明ニシテ裁キタイト思フト同時ニ、商工大臣ハ其ノ特殊會社ヲ御歩キニナリマシタ特別ノ責任モアラレマスノデ、其ノ點ノ信念ヲ明瞭ニシテ裁クコトガ、將來特殊會社ノ發達ノ上ニモ役立ツコトト思ヒマスルカラ、其ノ點明瞭ニ御説明願ヒタイト思フノデアリマス

○八田國務大臣 御話ノ如ク國策會社ノ役員ハ、其ノ人宜シキヲ得ルト云フコトガ、先ヅ以テ必要デアリマスルト共ニ、其ノ事業ノ或ル段階ニ達スルマデハ、繼續シテ其ノ責任ヲ盡スト云フコトガ、私ハ洵ニ必要デアルト考ヘテ居ルノデアリマス、デアリマスルカラ、今後ニ於キマシテモ私共ハサウ云フ積リデ、此ノ事ニ當リタイト思フノデアリマス、唯偶ニハ其ノ原則ヲ破ルヤウナ

コトモアリ得ルノデアリマスケレドモ、ソレハ決シテ望マシイコトデハナイノデアリマスノデ、其ノ原則ニ向ツテ努力致スコトガ適當デアルト考ヘテ居リマス

○川俣委員 重ネテ御尋致シタイト思フノデアリマスガ、私ハ如何ニ有能ナ人物デアラレマシテモ、若シモ半年乃至一年デ轉職サレルヤウナ方ガ社長總裁デアル場合ハ、其ノ人ハ適當ナ總裁社長ヂヤナイ、假令有能デアツテモ、其ノ會社自體トシテハ適當ナル社長ヂヤナイト解釋致シマスガ、之ニ對スル商工大臣ノ御答辯ヲ願ヒマス

○八田國務大臣 其ノ通りデアラウト思ヒマス

○川俣委員 重ネテ御尋致シマス、尙ホ此ノ際御尋致シタイノデアリマスガ、業務ヲ執行致シマス社長、副社長ハ別ニ致シマシテ、理事等ニ於キマシテハ、私ハ寧ロ特殊會社ノ特別ナ事業ヲ營ミマスルニ付キマシテハ、技術ノ相當ナル用意ノアラレル方ガ就任サルル方ガ適當ダト私共ハ考ヘテ居リマス、隨テ所謂一般ニ言フ天降リガイカスト言ハレマス中ニ、私ハ尤ナ點モ理解スルノデアリマスルケレドモ、斯ル技術的ナ會社ニ於キマシテハ、其ノ半數位ハ相當技術上有能ナ人々ヲ收容スルコトガ、會社

ノ發達ノ爲ニ役立ツト考ヘテ居リマスガ、之ニ對スル大臣ノ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

○八田國務大臣 全ク同感ニ私ハ考ヘテ居リマス

○川俣委員 ソレデハ大臣ニ對スル質問ハソレデ打切りマシテ、他ノ點ニ付テハ政府委員カラ御答辯願ヒタイト思ヒマス

○八角委員長 ソレデハ川俣君、一寸宮脇君ニ讓ツテ、宮脇君ノ大臣ニ對スル質疑ヲ願ヒマス

○宮脇委員 一寸大臣ニモウ一ツ希望ヲ述ベテ置キマス、此ノ法案ノ生レマス前ノ經緯トカ、或ハ其ノ内容トカヲ私ハ此處決シテ申シマセス、唯此ノ法案ヲ議會ニ出ス前ニハ、私共ハ政府部内デモ相當ナ反對ガアツタヤウニ聞イテ居リマス、又民間ニ於キマシテ、果シテ斯ウ云フ會社ヲ作ツテ巧ク行クカドウカ、即チ會社ノ目的遂行ハドウカト云フコトヲ危ンデ居ル者モアリマス、是ハ詰リ從來ノ國策會社ニ對シテ考ヘテ居ル、私共先般申シマシタヤウニ、此ノ會社ハ極メテ必要デアアル、斯ウ云フ方法ヲ執ラナケレバ、到底重要鑛產物ノ増産ハ出來ヌ、ドウカ出來マシタ以上ハ、國策遂行ニ貢獻スルト云フコトハ固ヨリ、前申シマシタコ

トヲ打破スル爲ニ、商工省ノ面目ニ掛ケテモ、此ノ會社ノ目的ヲ達成スルト云フコトニ十二分ノ御努力、御用意ヲ私ハ願ヒタイト思ヒマス

○八田國務大臣 只今ノ點ハ能ク傾聴致シマシテ、善處致シタイト思ヒマス、苟モ政府ガ一ツノ會社ノ設立ヲ申出デマスル以上、其ノ責任ハ政府ニアルト考ヘルノデアリマス、隨ヒマシテ吾々ハ其ノ會社ヲドウシテ巧ク之ヲ作上ゲヨウカト云フコトニ付キマシテハ、心ノ中デ考ヘテ居ル次第デアリマス、又徒ニ會社ヲ作ルト云フコトニ付テモ、往々批評モアリマスルノデ、私共實ハ其ノ點ニ付テ考ヘナイノデハナイノデアリマ스가、色々研究シマシタ結果、ヤハリ斯ウ云フ會社ガナクテハ、今ノ此ノ日本ノ狀態デハ増産ヲスルコトハ中々難カシイ、是アツテモ尙ホ其ノ足ラザルヲ憂ヘルノデアリマシテ、ドウカシテ作ル以上ハ此ノ目的ヲ達シタイト云フコトヲ、當初カラ考ヘテ居ル次第デアリマシテ、此ノ點ヲ御諒承願ヒマシテ、只今御話ノ點ハ十分ニ參考ニ供シマシテ善處致シタイト存ジマス

○川俣委員 次ニ御尋致シタイ點ハ、本法案ノ成立ヲ私モ希望致シテ居ル一人デゴザイマスガ、此ノ鑛業開發株式會社ガ出來ルコ

トニ依リマシテ、或ハ期待致サナイ不結果ヲ招クノデハナカラウカト憂ヘル點モアルノデ、其ノ點カラ御尋致シタイと思ヒマス、御承知ノヤウニ今日政府ガ日本產金株式會社法、或ハ重要鑛物増產法、或ハ產金獎勵等、色々手ヲ盡シテ居ラレマスケレドモ、中々好キ結果ヲ得ラレナイ、其ノ原因ガ幾ツモアルノデアリマスケレドモ、其ノ中ノ一ツハ、言葉ガ惡

ウゴザイマスガ、下級技術員並ニ熟練労働者ノ不足ヲ致シテ居ル點ガ、確ニ大キナ原因デアルト私共ハ考ヘテ居リマス、斯ル鑛業開發株式會社ガ出來ルコトニ依リマシテ、民間ノ小鑛業者ヲ獎勵指導シ、又其ノ產額ノ増加セシコトヲ希望致シテ居ラレルノデアリマスケレドモ、一方斯ウ云フ會社ガ出來マス、其ノ方面ニ勞働力ノ不足ナル現在、却テ斯ウ云フ會社ガ出來ルコトニ依リマシテ、現在ノ儘デアリマスレバ、寧ろ労働者ヲソチラニ吸收サセテシマヒマシテ、或ハ下級技術員又ハ熟練労働者ノ爭奪戰ヲ演ジマシテ、折角増產ニ取掛ツテ居リマス小鑛業者ヲシテ、却テ窮屈ナ鑛業ヲ營マシメナケレバナラナイト云フヤウナ状態ニ陥ルニアラズヤト惧レルノデアリマスガ、之ニ對スル當局ノ見透シヲ御尋致シマス

○小金政府委員 洵ニ御尤ナ點デアリマシテ、殊ニ此ノ會社ノ事業ノ主體トスルヤウナ仕事ヲ致シテ行キマスニハ、下級技術員ト申シマスカ、サウ云フヤウナ人々ヤ、熟練労働者ト云フヤウナモノヲ相當必要ト致シマス、斯ウ云フ會社ガ出來マシテ、是等ノ人々ヲ此ノ會社ニ徒ニ爭奪シテ來ルト云フヤウナ弊ハ、嚴ニ戒メナケレバナラスノデアリマシテ、此ノ案ヲ作ルノ際シマシテハ、ソレ等ノ點モ考慮致シテ居リマス、此ノ會社ハ年次ヲ逐ウテ段々事業ヲ進捗セシメルヤウニナツテ居リマスカラ、其ノ間ノ御注意ノ點ニ付キマシテハ十分意ヲ用ヒルコトト致シマス、尙ホ小鑛山業者ヲシテ特ニ所謂下級技術員或ハ熟練労働者ヲ、此ノ會社ニ取ラレルヤウナコトノ絕對ニナキヤウニ注意致シマス

○川俣委員 局長ノ御説明洵ニ諒承致スノデアリマス、尙ホ附加ヘテ之ニ關聯シテ御尋シタイと思フノデアリマスガ、私ノ見ル所ヲ申シマスレバ、所謂鑛山開發ノ爲ニ直接熟練ヲ要スル労働者ノ賃銀ハ、モウ少シ高騰致シテモ宜シイ、併シナガラソレニ附隨スル所謂雜夫ノ如キハ、現在ヨリモ稍低シテモ宜イノデハナカラウカト云フヤウナ考ヲ私ハ抱イテ居リマス、若シモ今ノヤウニ一調子ニ勞働賃銀ガ高騰致シマス、

生産費ガ増加致シマシテ、中々鑛業ヲ營ム上ニ色々不便ヲ來スヤウニ考ヘルノデアリマス、今日ノ賃銀ガ相當高クナリツツアリマス、隨テ私カラ見マスレバ、所謂雜夫ト云フヤウナモノハ、モウ少シ賃銀ヲ下ゲルコトニ依ツテ、寧ろ生産費ヲ下ゲタガ方ガ宜イシ、熟練労働者ノ如キハ、モウ少シ賃銀ヲ上ゲマシテ、生産ヲ増大シタガ方適當デハナカラウカト思フノデアリマスガ、大體ノ所ヲ申上ゲタノデアリマスガ、之ニ對スル當局ノ御意見ヲ伺ヒタイと思ヒマス

○小金政府委員 重要鑛物ノ如キモノニ付テハ、特ニ生産費ノ高騰ヲ抑ヘマシテ、生産「コスト」ヲ下ゲルト云フコトハ、御説ノ通り大事デアリマス、是ハ労働者ノ賃銀ノミニ依ツテ引下ゲルト云フ御趣旨デナイコトハ勿論デアリマス、其ノ點ニ付テハ私共モ何等カノ方法デ技術ノ進歩トカ、發達トカ、或ハ其ノ合理化ト云フコトデ下ゲタイ、ソレニハ川俣サンノ前提トシテ居ラレルヤウデアリマスガ、勞働賃銀ダケニ付テ見マス、之ヲ合理化スル必要ハ私共モアラウト思ツテ居リマス、今御舉ゲニナリマシタヤウナ點ガ、十分考慮サレナケレバナラナイト存ジマス、是等ノ點ニ付キマシテハ、各方面トモ打合セマシテ、鑛夫全般ノ勞働賃銀政

策ノ一端トシテ、御意見ヲ參考ニ供シタイと思ヒマス、此ノ會社ニ使用スル熟練労働者、其ノ他ノ雜夫等ニ付キマシテモ、御考ハ十分參照シタイト存ジマス

○川俣委員 政府ノ御答辯諒承致シマス、次ニ御尋致シタイノデアリマスガ、私ハ此ノ前ノ何カノ委員會デモ申上ゲマシタガ、此ノ際最初ニ戻ルヤウニナリマスケレドモ、日本ノ最初ニ出來タ鑛業條例ヲ見マスルト、鑛物ヲ理解シナイ者ハ鑛業ノ試掘ヲスルコトガ出來ナイト云フ風ニナツテ居ル如ク、私共ハ知り得テ居リマス、所ガ最近ハ全ク鑛物ニ對スル理解モナイノニ拘ラズ、鑛業ヲ熱心ニ開發ナサレヤウト爲サルノデアリマスガ、其ノ努力ニ對シテハ吾々決シテ不服ヲ唱ヘル者デハナク、又ソレヲ阻止セントスル者デハゴザイマセマスケレドモ、徒ニ鑛物ニ對スル理解ノナイ人ガヤルコトニ依ツテ、所謂山師トフヤウナ氣運ヲ生ジ、金融ノ途ガ又自ラ缺ケ勝チナ關係ニ相成ルノデハナカラウカト考ヘテ居ルノデアリマス、尙ホ更ニ進ンデハ此ノ前ノ委員會ニ於テ議論ニナリマシタヤウニ、自分ノ持ツテ運シデ行ツタ鑛物ガ、製鍊所ニ出シテ、其處ノ分析ニ遭ヒマス、品位ガ下ツタト云フコトデ、其ノ製鍊所ニ

對シテ色ナ疑惑ノ眠ヲ以テ見テ居ラレル
ヤウデアリマス、此ノ十一條ノ六項ニ依リ
マス「重要礦物ヲ目的トスル鑛業又ハ製鍊
業ニ對スル資金ノ融通又ハ投資」ト云フヤウ
ナ、色々ノ便宜ヲ此ノ鑛業開發會社ガ與ヘ
ルノデアリマスガ、此ノ鑛發會社ガ他ノ製
鍊業者ニ特別ナ便宜ヲ與ヘルノデアルガ、
其ノ便宜ヲ受ケタ製鍊所ガ斯ル疑惑ノ中ニ
アルト云フコトニナルト、是ハ事穩カナラ
スコトニ相成ルト思フノデアリマス、ソコ
デ度々政府ノ方デ御答辯ニナル際ニモ明瞭
ヲ缺イテ居ツタノデアリマスガ、所謂小鑛
業者ガ分析ニ付テ色々疑惑ヲ持ツテ居ル、斯
ル疑惑ノ存在スル餘地ノアルヤウナ口吻ガ、
政府ノ答辯ノ何處カニアルヤウニ、マダ認
識サレテ居ル點ガアルト思ヒマス、私ハ斯
ルコトガ明瞭ニナラナイト、鑛業ヲ營ム人
人ガ非常ニ不安デアルバカリデナク、又計
畫ヲモ誤ラシメルト思ヒマスノデ、此ノ點
ニ付テ尙ホ更ニ政府ノ明瞭ナ御答辯ヲ煩シ
タイト思ヒマス

○小金政府委員 山ノ鑛石ヲ賣ル方ト其ノ
鑛石ヲ買取ツテ製鍊スル方ノ業者トノ間ニ
於ケル色々ナ經緯ハ、屢々ニシテ來タ所
デアリマス、ソレハコト數年來、少クトモ
私ノ知ル範圍ニ於キマシテハ、三四年來分

折ノ結果ヲ檢査致シマシタ所ガ、不正ハナ
カツタノデアリマス、ソレニモ拘ラズサウ
云フ空氣ガ醸成サレル所以ノモノハ、先般
川俣サンガ仰セニナリマシタヤウニ、賣ル
方ハドウシテモ良イモノト信ズルカラコソ
採ツテ來テ賣ルノダ、ソレガ科學ノ鑛ニ掛
ケテ見ルト、其通りデナカツタ場合ニハ、
何カヲカシイデヤナイカト云フ疑惑ヲ持
チ、片ツ方ハ又營利會社デアル場合ニ於テ
ハ、當然或ル程度ノ利潤ヲ是亦考ヘナケレ
バナラス、ソコニ色々ナル行違ヒガ生ズル
ノデハナイカト私共ハ考ヘマス、ソコデ民
間ノ製鍊業者ニ於テモ、サウ云フ疑惑ノ眼
ヲ以テ見ラレルト云フコトハ、賣鑛スル
鑛山ノ方デ不安ガアルト同時ニ、極メテ營
業上困ルト云フヤウナ御意見モ承ツテ居リ
マス、サウ云フヤウナ實情デアリマスカラ、
此ノ會社ガ成立シタ場合ニ於キマシテハ、出
來ルダケ賣鑛ニ關スル「サンプリング」ト申
シマスカ、資料ヲ採ル設備、分析設備ヲ買
取りマシテ、或ハ借受ケマシテ、此ノ半官
半民ノ會社ノ手ニ依ツテ資料ヲ採リ分析ヲ
シテ、サウシテ仲介ヲサセタラ宜イノデハ
ナイカ、大體斯ウ云フ計畫ヲ、此ノ會社ノ
事業内容トシテ持ツテ居リマスカラ、御示
シノ點ニ付テハ十分注意モシ、又鑛石ヲ賣

ル方ト買フ方ノ中ニ立ツテ、色々斡旋的ナ
コトヲ爲シ得ルデアラウ、斯ウ考ヘテ居リ
マス

○川俣委員 政府ノ考ヘテ居ラレル所ハ洵
ニ明瞭デアリマシテ、私共ハ、洵ニ喜ビニ堪
ヘナイ次第デアリマス、モウ少シ突込ンデ
御尋シ、又政府モ決意ヲ要スル點ダト思フ
ノデアリマス、若シ斯ル不正ガアルナラバ、
監督局ハ大鑛業會社ト雖モ之ヲ處分スベキ
ダト云フ建前ヲ、嚴重ニ是ニ於テ執ラナケ
レバ相成ラト思フノデアリマス、偶々斯ル
不正アリマスレバ、日本全體ノ重要鑛物増
産ノ上ニ少カラヌ被害ヲ及ボスノデアリマ
スカラ、之ニ對シテハ嚴重ナル監督ヲ必要
トスル、又斯ル不正ガナイニモ拘ラズ、斯
ル誤解ヲ生ズルト云フコトニナリマスレ
バ、ソレハ却テ斯ル不安ヲ生ゼシメテ居ル
コトガ、小サイ鑛石ヲ賣ツテ居ル方面ノ計
畫ヲ、徒ニ立テシメナイ結果ニ陷ラシムル
ノデアリマスカラ、是モ本當ニ全キ指導デ
ハナイト思ヒマス、所ガ今度此ノ鑛發會社
ガ中ニ入ツテ斡旋サレルノデアリマスケレ
ドモ、私ハ斯ウ云フ結果ニ相成ルノデハナ
カラウカト思フノデアリマス、此ノ會社ノ
者ト大キナ鑛業會社ガグルニナツテ、結託
シテ分析ヲ胡麻化スト云フコトニナルデ

ハナイカ、私ハ斯ウ云フ評判ヲ耳ニスルノ
デアリマス、此ノ點ニ付テハ政府ガ製鍊所
ヲ營ミマシテモ同ジコトデアアル、政府ガ製
鍊所ヲ營ミマシテモ、政府ノ方ガ胡麻化シタ
ト云フコトガ必ズ起ルデハナカラウカ、ソ
コデ是ハ徹底的ニ斯ル不正ガアレバ嚴罰ニ
スル、ナイ場合ニハ監督局ナリ鑛山行政ヲ司
ツテ居ラレル方々ハ、其ノ不正ガアルト云
フ噂ノ立消エルヤウニ、努力シナケレバナラ
ヌモノト私共ハ考ヘル、是ハ單ニ私ハ大鑛業
者ニ對スル立場カラ申上ゲルノデハナクシ
テ、實際鑛山ノ經營狀態ヲ見テ居リマス、
洵ニ杜撰ナ鑛石ノ掘リ方ヲ致シテ居リマス、
モウ少シ選鑛ヲ加ヘルナラバ、運賃ニ於キ
マシテモモツト削減サレマシテ、品位ガ向
上スルノデハナカラウカト思ハレマスケレ
ドモ、ソレヲ高イ運賃ヲ掛ケマシテ低品位
ノモノヲ送ル、而モ所謂賣鑛ノ爲ニ送ツタ
鑛石ガ、製鍊所ニ著イテ品位ガナクテ、之
ヲ受取ラナイデ、鐵道附近ニ山積致シテ居
ルヤウナ、狀態モアルノデアリマス、斯ルコ
トデハ輸送力ノ缺ケテ居ル鐵道ニ對シテモ、
ソレダケ必要ナ勞働者ヲ使ヒ、時間ニ對シ
テモ、又金ニ對シテモ、非常ナ損ナ結果ヲ
來シテ居ルト思ヒマス、斯ウ云フ狀態トナ
レバ、猫モ杓子モ鑛山ヲヤルコトガ宜イト

云フコトデ獎勵サレマシテモ、必ズシモ私ハ好イ結果ヲ得ナイ、寧ロ鑛業ニ理解ノアル者ガ澤山出テ來デ、本當ニ増産スルコトガ望マシイノデアリマス、猫モ杓子モ何回デモヤル方ガ、一回デモ多クナルデアラウト云フコトヲ御考ニナルコトガ、寧ロ私ハ惡イ結果ヲ來スノデハナイカ、出來ルナラバヤハリ相當ナ決意ヲ持ツテ、所謂山師ト言ハレルヤウナ結果ニ相成ラスヤウナ事業ノ遂行ノ方ガ望マシイト思フノデアリマス、先程モ申シマシタヤウニ、勞働者ノ不足ヲ來シ、金融ノ不足ヲ來シ、設備ノ不足ヲ來シテ居ル際ニ、猫モ杓子モヤツテ呉レト云フコトデヤリマス、不足勝チナモノバカリ出テ參リマシテ、折角事業ヲ經營致ス者ノ寧ロ妨害ニ相成ルンデハナカラウト私共ハ憂フルノデアリマシテ、其ノ點ニ付キマシテ鑛山行政ヲ司ツテ居ル局長ノ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○小金政府委員 此ノ半官半民會社ガ資料ヲ採ル設備、分析設備等ヲ買取ツテヤツタ場合モ、將又餘程ノ犠牲ヲ忍ンデ官廳ガ其ノ仕事ヲシタシテモ、疑惑ガ起ル場合ニ付テハ同様デアラウト云フ御意見ニハ全ク同感デアリマシテ、立デヨウト思ヘバ、如何ナル噂デモ立チ得ルモノデアリマスカラ、

是ハ寧ロ川俣サンガ仰シヤツタヤウニ、如何ナル大鑛業會社ト雖モ不正ガアツタ場合ニハ、斷ジテ容赦シナイト云フ方針ヲ確立致シマシテ之ヲ實行スル、ソレカラ特ニ中小ノ鑛山ト申シマス、鑛石ヲ掘ツテ賣ルヤウナ鑛山業者ニ付キマシテハ、只今ノ御説ノヤウニ徹底ノニ指導ト申シマス、監督ト申シマス、要スルニ指導助成ヲ致サナケレバिकासト思ツテ居リマス、即チ一切ノ鑛物ノ採掘ノ遣方トカ、或ハ選鑛ノ仕方等ニ付テ、十分官廳ノ方デ指導ノニ協力シテヤルト云フコトガ大切ダト思ヒマス、サウシテサウ云フヤウナ方法デ、一聴デモ多ク此ノ重要鑛物ヲ此ノ際掘出スト云フコトニ致シタイト存ジマス、ソコデ唯無暗ニ數バカリ多ク鑛山業ニ取付カスヨリモ、實質的ニ良イモノヲ多ク指導シテ行ツタ方ガ宜イト云フ御意見、御尤デアリマス、ソレ等ノ點ニ付キマシテモ、吾々鑛山行政ノ衝ニ當ツテ居ル一部ノ者トシテ、十分考慮致シタイト存ジマス、唯ヤハリ他ノ事業ト同ジヤウニ、一部ノ者ハ成功スルシ、一部ノ者ハ失敗スルト云フヤウナニ、ソコニ色々ナ變幻極マリナキ現象ハ起ルト思ヒマスガ、御趣旨ノ點ハ能ク了解致シマシタ

○川俣委員 尙ホ御尋スルノハ「重要鑛物ノ

賣買又ハ其ノ斡旋」ト云フノハ、其ノ鑛區モ合マレテ居ルノデアリマス、鑛業權モ合マレテ居ルノデアリマス、鑛物其ノモノデアリマス、其ノ點御伺致シマス

○小金政府委員 十一條ノ四號ノ方ハ、重要鑛物ダケノ問題デゴザイマス

○川俣委員 勿論此ノ會社ハ鑛業權ヲ買取ツタリ、或ハ其ノ鑛業權ヲ他ニ轉賣シタリナサルコトデアラウト、私共ハ考ヘルノデアリマスガ、其ノ際十分注意ヲシナケレバナラスコトハ、往々特殊會社ノ例ト致シマシテ、首腦部ニ鑛業權ニ對シテ理解ノナイ人ガ居リマス、所謂技術者ノ意見ヲ其ノ儘鵜呑ミニスルトカ、或ハ技術者ノ意見ノミヲ以テ事業ヲ營ムト云フ結果ニ相成リマス、本法ガ出來マシタ趣旨ト云フモノヲ、本當ニ理解シナイ首腦部ガ居リマス、此ノ會社ノ目的ガ達成出來ナイト思フノデアリマス、隨テ首腦部ノ一部ニハ、先程モ申上ゲマシタヤウニ、相當ナ技術上優秀ナ人々ガ其ノ席ニ居リマセヌト、技術者ヲ十分指導スルコトガ出來ナイ結果ニナリマシテ、所期ノ目的ガ達成出來ナイト思フノデアリマス、首腦部ノ全部ガ技術者デナケレバナラストハ申シマセヌケレドモ、少クトモ首腦部ノ半分位ハ技術

ノ優秀ナル出身者デナケレバ相成ラスト私共ハ思フ、サウデナケレバ中々學校カラ出テ參リマシタ技術者ノ意見ヲ聽イテ、之ヲ判斷スルダケデハ、鑛業權ヲ取得致シマスニ付キマシテモ、又ソレヲ轉賣致シマスニ依ツテ判定シ得ラレルモノデアリマセヌノデ、結局此ノ首腦部ノ意見ト云フモノガ加ハルノデアリマス、其ノ際首腦部ニ定見ガナケレバナラスト思フノデアリマスガ、此ノ點ニ付テハ特ニ大臣ガ相當注意ヲスルト申サレテ居リマスケレドモ、此ノ立案ニ當ラレマシタ當局ノ御意見モ此ノ際承リタイト思ヒマス

○小金政府委員 御話ノ通り此ノ會社ノ鑛業權ノ買取モゴザイマス、又賣却モ出來ルコトニナツテ居リマス、サウ云フ風ニナリマス、益、此ノ會社ノ首腦部或ハ中堅ノ方面ニ人ヲ得ルカ得ナイカト云フコトガ、大キナ問題ニナルト存ジマス、ソコデ御説ノ通り私共モ色々彼是レト、主トシテ非鐵金屬ノ増産ニ付テ案ヲ考ヘ、ヤリ直シ、練直シテ來タノデアリマスガ、斯ウ云フ結論ヲ得マス途中ニ於キマシテハ、ヤハリ此ノ會社ノ首腦部——特ニ技術的方面ニ關係スベキ首腦者、或ハ技術ヲ擔當スル方々ノ陣容如

何ガ一番大キナ問題トナツタノデアリマス、ソコデ上司ニモ大體其ノ趣旨ヲ申上ゲマシテ、出來ルダケ技術部門出身ノ優秀ナル者ヲ送込デ、會社ノ經營ニ最善ノ努力ヲサセルト云フ趣旨デ、是ガ政府ノ總意トナツテ此處ニ現ハレタ次第デアリマス

○川俣委員 若シモ本當ニ其ノ考ヲ以テヤラレルトスルナラバ、吾々全ク賛成デアリマシテ、唯往々ニシテ色々ナ天降リニ反對ダト云フ、抽象的ナ譏ノ爲ニ、却テ本會社ガ拙イ結果ヲ得ラレルト致シマスレバ、甚ダ残念ダト思ヒマシテ、其ノ點御尋致シタ次第デアリマス、大體私ノ御尋ノ點ハ之ヲ以テ打切りタイト思ヒマス

○原委員 一寸今ノ點ニ牽聯シテ——只今ノ點デ、此ノ會社ノ設立經營ニ付テハ、相當人的要素ガ必要ダト思ヒマス、政府ハ技術者又ハ會社ノ經營ニ對スル人物ヲ何レノ方面カラ得テ、此ノ會社ヲ運用シテ行カレヨウトスルカ、何カ御計畫ガアツタナラバ伺ヒタイト思ヒマス

○小金政府委員 此ノ會社ニ關係スル人事ノ首腦部ノコトニ付キマシテハ、此處デ大臣ニ御質問ガアリマシテモ、恐ラク御答ニナラナイト存ジマス、私共モ勿論其ノ點ニ付テハマダ申上グルコトガ出來ナイノデアリ

マス、唯技術關係ノ方面ニ付キマシテハ、鑛山ニ經驗ノアル者、即チ色々ノ意味ニ於テ經驗ノアル人ヲ廣ク集メテ、併シナガラ廣ク集メタ時ニ於キマシテハ、兎角技術者ノ間ニ爭ガ起リマスノデ、其ノ間ノ調和ガ出來ルヤウナ範圍デ、又調和ヲサセルヤウナ方法デ、出來ルダケ經驗ノアル人材ヲ集メタイ、此ノ程度ノコトシカ此處デハ申上ゲラレナイノデアリマス

○原委員 技術者、又ハ技術者方面デナクテモ、會社ヲ運營シテ行ク上ノ人的要素ニ付テ、政府殊ニ商工省、又ハ鑛山局ヨリ何等應援シナクテモ、他カラ集マル見込ガアリマスカ、如何デセウカ

○小金政府委員 技術者及ビ他ノ事務系統ノ人的要素ノ御尋デアリマスガ、事務系統ニ付テハ、是ハ其ノ人サヘ得レバ、比較的難問題ハナイカトモ思ヒマス、主トシテ技術者間ノ問題ト存ジテ御答致シマスガ、鑛山行政方面カラ、出來ルダケノ應援モ致シタイト存ジマス

○原委員 鑛山行政方面ト云フノハ、商工省鑛山局ダト思ヒマスガ、此ノ方面カラ十分御出シナルダケノ餘裕ガアルノデスカ
○小金政府委員 鑛山行政ト云フノハ、少シ言葉ガ狹クツタカモ知レマセヌガ、鑛山

行政及ビ鑛山關係ノ學會、研究機關ト云フモノヲ含メテ考ヘテ居リマス、商工省デハ最近殊ニ鑛山行政ノ充實擴充ヲ計畫致シテ居リマスノデ、人ガ有餘ツテ居ルトハ申セマセヌガ、唯斯ウ云フヤウナ國策ヲ實行スル會社ガ眞ニ必要デアラナラバ、役所ニ居ツテ働イテ行クノモ、此ノ會社ニ於テ働イテ戴クノモ同ジデアル、或ハ會社デ働ク方ガ十分ノ手腕ヲ揮ヒ得ルヤウナ技術者モナイ譯デハゴザイマセヌカラ、是等ノ點ヲ色色考慮致シマシテ、人ノ配置ヲ考ヘテ行キタイノデアリマス

○原委員 鑛山局ノ方ニ相當ノ人物ガオアリニナルヤウナ風デスガ、此ノ會社ニ必要ナ技術方面ノ方全部ヲ廻スコトガ出來マスカ、又一面民間カラ之ヲ採用スルヤウナコトニナル際ニハ、民間ノ方ノ經營者ガ、其ノ結果困ルト云フヤウナコトガ起リハシナイデセウカ、技術者ニ付テハ餘程問題ダト思ヒマスガ、モウ少シ御計畫ガアルナラバ露骨ニ——ナイナラ仕方アリマセヌガ、アルナラバ御話ヲ願ヒタイト思ヒマス

○小金政府委員 民間會社ヲ困ラスヤウナ引拔ノ計畫ハゴザイマセヌ、併シ民間ノ技術者デ、好シデ此ノ會社ニ入リタイト云フ技術者ガアレバ、ソレハ相談ノ上デ來テ貰フ、サウシテ爭奪的ナコトヲ致サナイ方針デゴザイマス、尙ホ此ノ技術者ノ陣容ニ付キマシテハ、是ハマダ上局ノ御諒解モ得テ居リマセヌノデ、此處デ詳シク申上グルコトハ御容赦ヲ願ヒタイノデアリマスガ、私共略見當ハ付キマシタノデ、斯ウ云フ案ヲ立テタ次第デゴザイマス

○原委員 結論トシテ大局カラ見テ、私等ハ民間カラ得ヨウトシテ得ラレルモノデハナイノデ、商工省ガ斯ノ如キ會社ヲ御作リニナル以上ハ、商工省ノ官吏ノ天降リト云フ非難ヲ受ケテモ、總テノ方面ニ商工省ガ出テ來テオヤリニナラナレバ、現在商工省以外ノ何レノ方面ニ行ツテ見テモ、サウ人間ハアル譯デハナイト思ヒマス、隨テサウ云フ點ニ付テ、商工省トシテハ大局カラ見テ、商工省ノ責任ヲ以テヤラレルト云フ、技術的其ノ他人的ノ見込ガ付イテ居リマスカドウカ

○小金政府委員 大體其ノ見込ガ付イテ居リマス
○八角委員長 ソレデハ質疑ハ是デ全部終了致シマシタ、次ハ討論採決ニ入リマスガ、其ノ前ニ極メテ簡單ナコトナラ質問ヲ御許シ致シマス、本日ハ是デ散會致シマス
午後三時三十二分散會

昭和十四年三月十五日印刷

昭和十四年三月十六日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局